

2026 年 9 月 29 日

各 位

株式会社 りそな銀行

**SM Prime Holdings(フィリピン)との業務提携覚書の締結について
～両社のネットワークを活用したビジネス機会の創出～**

りそなグループのりそな銀行(社長 千田 一弘)は、フィリピン有数の企業グループである SM グループ傘下の SM Prime Holdings, Inc.(以下、「SMPH」)と本日、業務提携覚書を締結しました。

なお、当社は 2021 年 12 月に SM グループ傘下の BDO Unibank, Inc と業務提携しており、SM グループ企業との業務提携は 2 社目となります。

背景・目的

フィリピンは 1 億 1,000 万人を超える人口を有し、平均年齢も 25.7 歳と若く、今後の人口増加や個人消費関連市場の中長期的な成長が見込まれています。SMPH は、フィリピン国内で 90 のショッピングモールや 22 のオフィスビルなどを展開する総合不動産開発会社で、同社が運営する商業施設には多くの日系企業の店舗が出店しています。本提携により、SMPH が有するネットワークや知見を活用し、フィリピンへの進出を検討しているお客さまや、既にフィリピンで事業を展開しているお客さまへの支援体制を強化します。

➤ 東南アジア最大級の総合不動産開発会社と提携し、フィリピンにおける事業展開をサポートします

SM グループとの接点創出や出店スペースなどのビジネスマッチング、各種情報提供を通じて、お客さまのフィリピンにおける事業展開をサポートします。さらに、SM グループ傘下企業の日本での事業展開にあたり、当社のお客さまの紹介などを通じて、SM グループと当社のお客さま双方のビジネス機会を支援します。

SM Prime Holdings, Inc. について

名 称	SM Prime Holdings, Inc.
本 社	フィリピン・パサイ市
提携内容	・両社の強みを活かした協業により、互いの潜在的なビジネス機会を追求し、長期的・戦略的な協力関係の構築 ・りそな銀行と SMPH およびその傘下企業によるマッチング機会の提供

【駐在員事務所】

- ・ 香港駐在員事務所
- ・ 上海駐在員事務所
- ・ バンコック駐在員事務所
- ・ ホーチミン駐在員事務所
- ・ ハノイ駐在員事務所
- ・ ロスアンゼルス駐在員事務所

【現地合併銀行】

(インドネシア)りそなプルダニア銀行

【現地リース会社】

(インドネシア)りそな・インドネシア・ファイナンス

【海外現地法人】

(シンガポール)りそなマーチャントバンクアジア

【提携銀行】(14 ヶ国・地域、22 行)

<北米>

(米国)BMO 銀行

<アジア>

(中国)東亜銀行、中国銀行、中国建設銀行、中国工商銀行、中国交通銀行、横浜銀行上海支店

(韓国)ハナ銀行

(台湾)玉山銀行、兆豊国際商業銀行

(香港)東亜銀行

(フィリピン)リサール商業銀行、BDO ユニバンク

(ラオス)パブリック銀行

(ベトナム)バンコック銀行、サコム銀行、ベトナム投資開発銀行

(カンボジア)カンボジア・パブリック銀行

(シンガポール)東亜銀行、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行

(タイ)バンコック銀行

(マレーシア)パブリック銀行

(ミャンマー)ミャンマー・エイペックス銀行

(インド)インドステイト銀行、イエス銀行、アクシス銀行

以 上